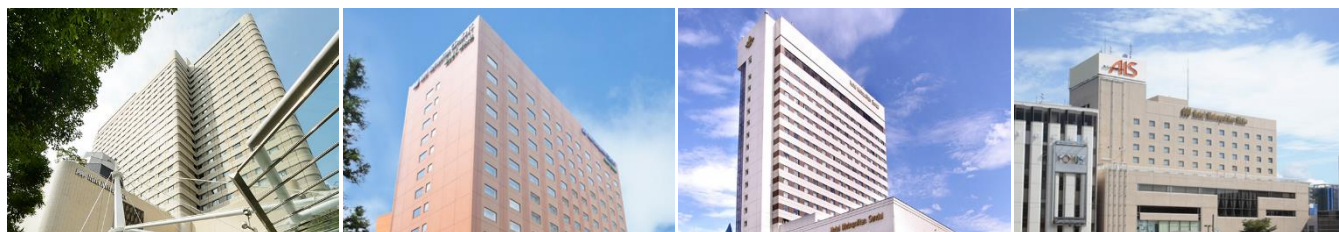


～ 地球にやさしいおもいやり活動 第2弾 ～

JR 東日本ホテルズはプラスチック製品の削減に取り組みます

JR 東日本ホテルズ（幹事会社：日本ホテル株式会社／東京都豊島区、代表取締役社長 里見雅行）は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みの一環として、2019年度末までに宴会場やレストランで使用するプラスチック製ストローの使用を取りやめ、紙製または生分解性プラスチック製ストローへ切り替えます。また、直営物販店で使用しているプラスチック製レジ袋もバイオマスプラスチック製に切り替えます。



1.プラスチック製ストローの廃止

プラスチックストローの使用を取りやめるとともに、ストローの使用を可能な限り控え、お客さまのご要望に応じて提供する場合は、紙や生分解性※素材などを使用したストローへ2019年度末を目途に順次置き換えていきます。

※生分解性・・・木綿のように微生物の働きによって分解され、最終的には二酸化炭素と水までに分解される性質をもちます。

2.プラスチック製レジ袋の廃止

プラスチック製レジ袋の使用を取りやめ、バイオマス※プラスチック製や紙袋等に2019年度末を目途に順次置き換えていきます。

※バイオマス・・・再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの（トウモロコシやサトウキビなど）

3.お客さまへのご案内

SDGs 達成に向けた JR 東日本グループの「プラスチックの削減」の取り組みである「なくそうプラゴミ」ポスターや POP の掲出等を通じてプラスチック製品の削減についてお客さまへご案内を行ってまいります。



その他のプラスチック製品についても、順次取り組んでまいります。

本プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブにご案内しています。

お問い合わせ先 日本ホテル株式会社 広報・ブランド戦略部 JR 東日本ホテルズ事務局
〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 外味・リッツ・ザビル 13F
TEL 03-6912-6741 e-mail:cs@nihonhotel.com

参考資料

1.使用実績

プラスチック製ストロー 2018年度実績：約49万本

プラスチック製レジ袋 2018年度実績：約10万枚

2.対象ホテル

・JR 東日本ホテルズで宴会場、直営レストラン&バー・ラウンジ、直営物販店のある13ホテル

	ホテル名	客室数	宴会場 室数	直営レスト ラン&バー・ ラウンジ数	直営物販 店数	運営会社
1	東京ステーションホテル	150	3	5	0	日本ホテル株式会社
2	ホテルメトロポリタン	807	16	8	2	
3	ホテルメトロポリタン エドモント	668	14	6	1	
4	ホテルメトロポリタン 丸の内	343	0	1	0	
5	ホテルメトロポリタン さいたま新都心	157	0	1	0	
6	ホテルメトロポリタン 高崎	141	7	1	0	株式会社ホテルメトロポリタン高崎
7	ホテルメトロポリタン 長野	235	11	3	0	株式会社ホテルメトロポリタン長野
8	ホテルメトロポリタン 仙台	295	16	5	0	仙台ターミナルビル株式会社
9	ホテルメトロポリタン 山形	116	12	5	0	
10	ホテルメトロポリタン 盛岡	191	8	1	1	盛岡ターミナルビル株式会社
11	ホテルメトロポリタン 盛岡ニューウイング	121	10	4	1	
12	ホテルメトロポリタン 秋田	115	13	0	0	秋田ステーションビル株式会社
13	ホテルニューグランド ※アソシエイトホテル	240	4	6	1	株式会社ホテル、ニューグランド

※直営物販店…レジ袋使用店舗。フロントの物販販売を含む。

【持続可能な開発目標（SDGs）とは】

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは開発途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（引用：外務省ホームページより）

